

ボリューム ライセンス簡易ガイド

マルチプレキシング (多重化) — クライアント アクセス ライセンス (CAL) の要件

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要.....	1
この簡易ガイドの更新内容.....	1
詳細.....	1
Microsoft SQL Server.....	2
Microsoft Office Project Server	3
Microsoft Visual Studio Team Foundation Server.....	4
よく寄せられる質問 (FAQ)	4

概要

このライセンス簡易ガイドでは、マルチプレキシングが、マイクロソフトのサーバー/クライアント アクセス ライセンス (CAL) モデルに基づいてライセンスを取得したマイクロソフト サーバー オペレーティング システムおよびサーバー製品のライセンスにどのような影響を及ぼすかを説明します。「マルチプレキシング (多重化)」とは、お客様がハードウェアまたはソフトウェアを使用して接続数をプールする、情報の経路を変更する、製品に直接アクセスするか製品を使用するデバイスやユーザーの数を減じる状況をいいます。マルチプレキシングには、製品により直接管理されるデバイスまたはユーザーの数を減じることも含まれます。

この簡易ガイドの更新内容

2014 年 4 月に発行された前のバージョンの代わりとなるものです。今回の更新では、ライセンス取得方法に関する変更はありません。

詳細

マルチプレキシングによって、必要な Microsoft ライセンスの数が減ることはありません。ユーザーは、製品への接続が直接であるか間接であるかにかかわらず、適切なライセンスを保有している必要があります。サーバー、ファイル、または自動処理プロセスにより利用可能になるサーバーから提供されるデータやコンテンツにアクセスするすべてのユーザーまたはデバイスには、CAL が必要となります。ただし、状況によっては CAL が不要になる場合があります。この状況については以下に詳しく説明します。通常、ファイル、データ、またはコンテンツが手動による操作の結果として (ユーザーがサーバーにファイルをアップロードしたり、ファイルを電子メールで送信したために) 利用できるようになった場合、手動で転送されたこれらのファイルにアクセスするユーザーまたはデバイスに CAL は必要ありません。

以下の例では特定の製品について説明していますが、他のマイクロソフト製品にも同じ要件が適用されます。ここでは、ネットワーク プラットフォームを Windows Server オペレーティング システム、メッセージング プラットフォームを Microsoft Exchange Server として説明します。

Microsoft SQL Server

図 1、2、および 3 は、Microsoft SQL Server データベース ソフトウェアの典型的なマルチプレキシングのシナリオとライセンス要件を示しています。(注: Windows Server および Exchange Server の CAL の要件は、これらのサーバーに対する直接または間接的なすべてのアクセスに適用されます。)

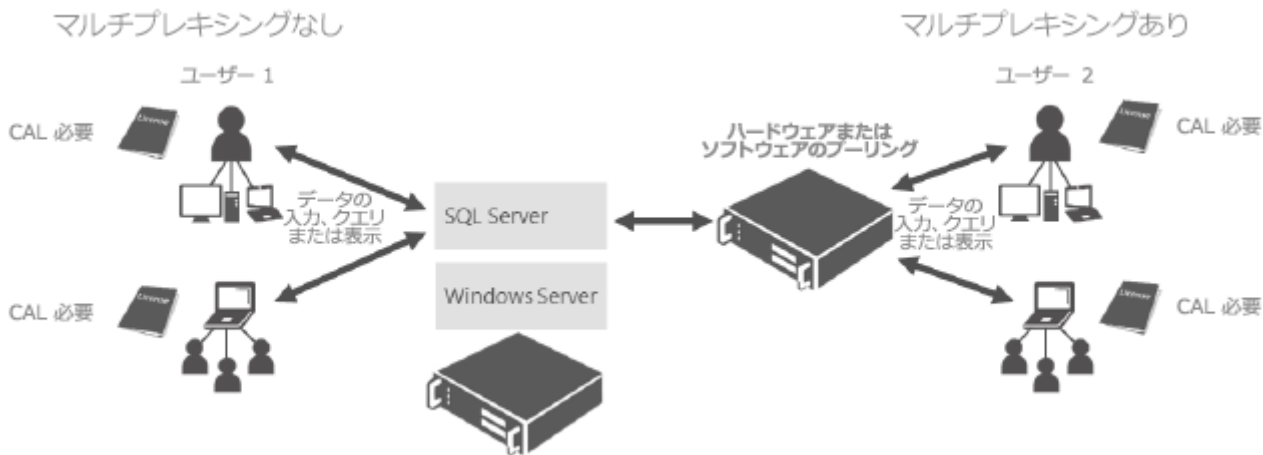


図 1: データの入力、クエリ、または表示

SQL Server CAL は、SQL Server データベースに直接データを入力したり、このデータベースからデータを照会または表示するユーザーに必要です (図 1 の左)。同様に、SQL Server CAL は、プーリング デバイスを通じて SQL Server データベースにデータを入力したり、このデータベースからデータを照会または表示するユーザーまたはデバイスに必要です (図 1 の右)。これには、Web ベースのアプリケーションを通じてデータを表示するユーザーや、中間製品を通じてデータベースに情報を入力するユーザーが含まれます。(注: お客様は SQL Server のライセンスをコア単位でも取得できるので、SQL Server CAL は不要です。)

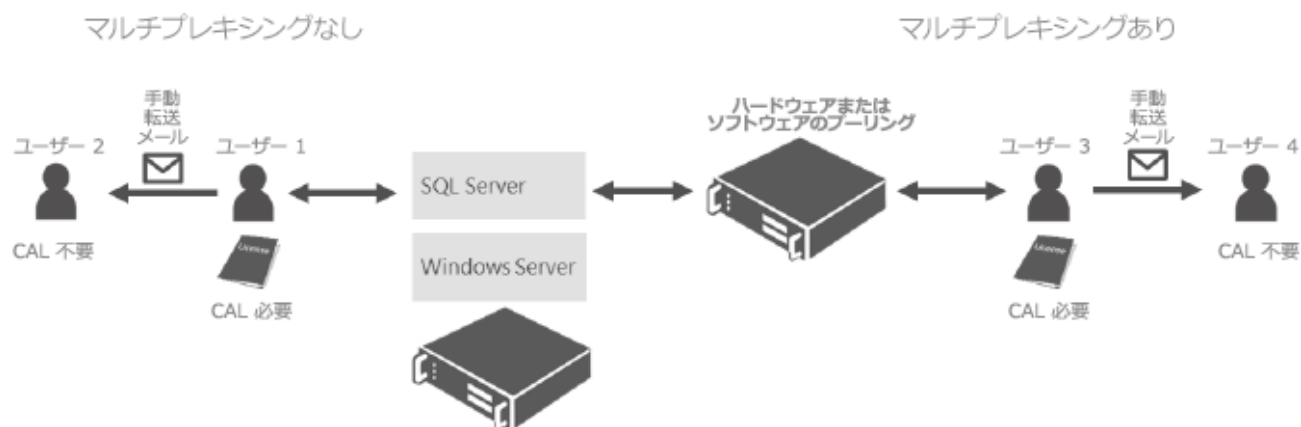


図 2: データのメッセージング

ユーザー (図 2 のユーザー 1) が SQL Server からデータを取得する場合、このユーザーには SQL Server CAL が必要となります。ユーザー 1 が積極的にそのデータを電子メールまたは他のメッセージング テクノロジーを使用してユーザー 2 に送信する場合、ユーザー 2 は SQL Server CAL を必要としません。マルチプレキシングの場合も、これらのルールは変わりません。プーリング アプリケーションを通じてデータを受信するユーザー 3 は、同様に SQL Server CAL を保有している必要があります。ユーザー 3 が積極的にそのデータを電子メールまたは他のメッセージング テクノロジーを使用してユーザー 4 に送信する場合、ユーザー 4 は SQL Server CAL を必要としません。

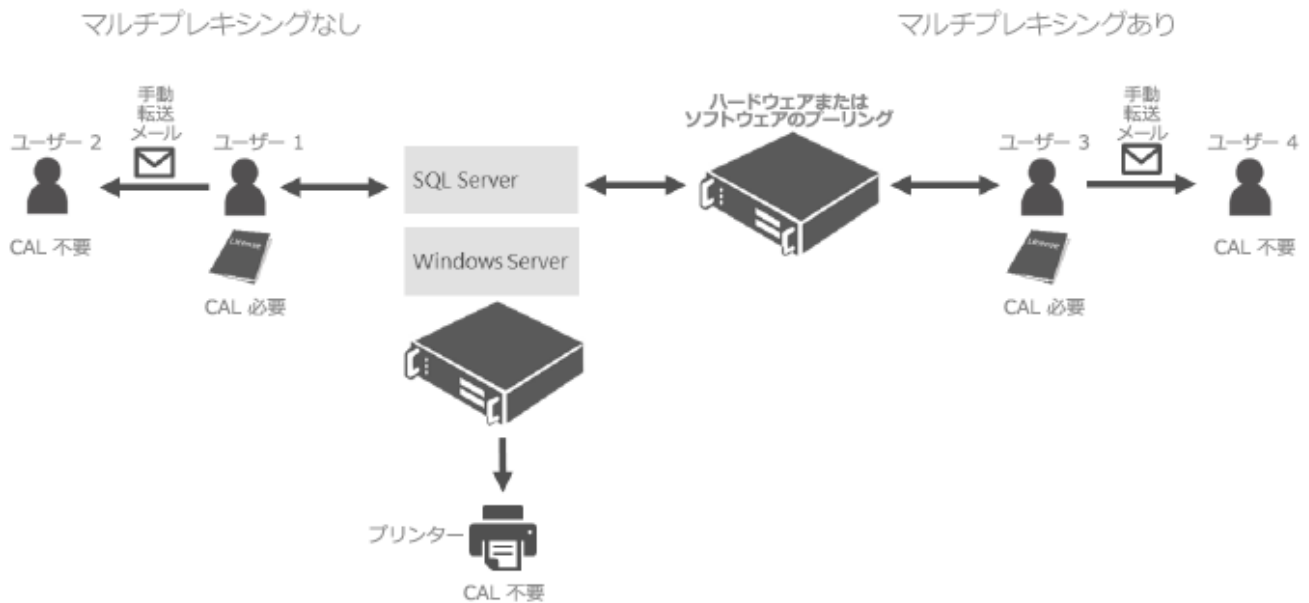


図 3: データのハードコピーの配布

データを紙で配布する場合、紙のレポートの受取人は SQL Server CAL を必要としません。ただし、上の図のユーザー 1 とユーザー 3 の両者は、SQL Server から (直接または間接的に) データを受け取っているため、いずれも CAL を必要とします。それぞれのユーザーがデータを印刷し、別のユーザー (ユーザー 2 とユーザー 4) に配布する場合、受取人であるユーザーは SQL Server CAL を必要としません。サーバーに直接接続されているプリンターには、サーバーからデータを印刷するためのライセンスは必要ありません。また、このプリンターがマルチプレキシングデバイスと見なされることはありません。

Project Server

図 4 は、Project Server のマルチプレキシングのシナリオとライセンス要件を示しています。(注: Windows Server および SQL Server (サーバー/CAL モデルのライセンスを取得済みの場合) の CAL の要件は、これらのサーバーに対する直接または間接的なすべてのアクセスに適用されます。)

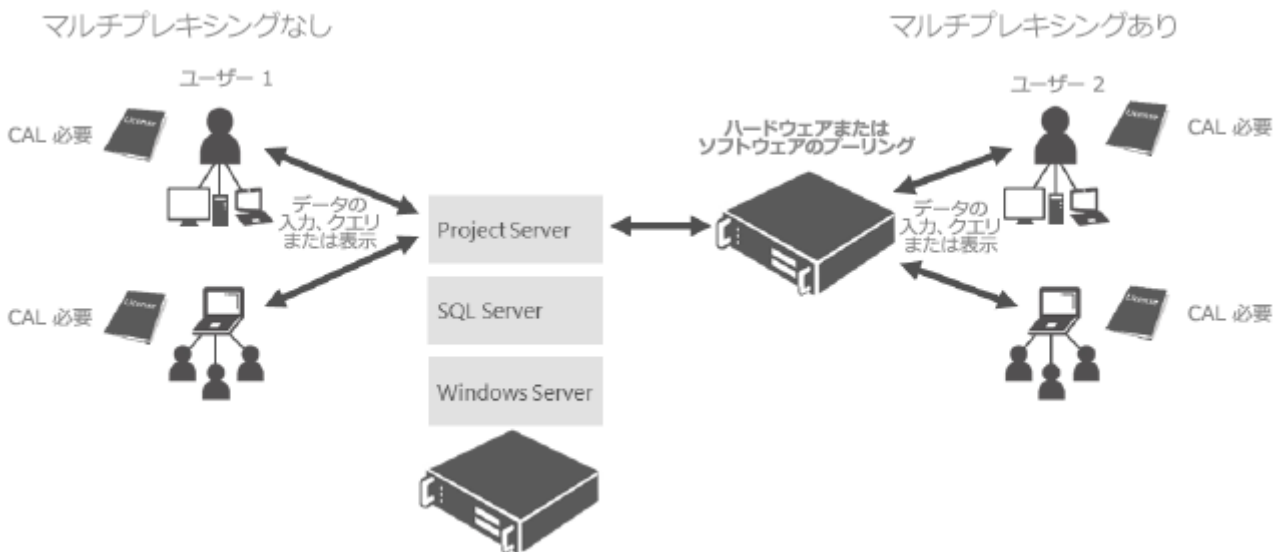


図 4: Project Server の基本構成

Web ベースのアプリケーションを含む可能性のある中間マルチプレキシング アプリケーションを通じて、Project Server からデータを表示または照会したり、Project Server にデータを入力したりする場合は、Project Server の CAL が必要となります。上記の例に示したように、SQL Server の場合と同じ CAL 要件が、電子メールまたは紙による配布を介したデータのメッセージングに適用されます。

Microsoft Visual Studio Team Foundation Server

SQL Server および Microsoft のサーバー/CAL ライセンス モデルにおける他の製品と同様に、Microsoft Visual Studio Team Foundation Server の CAL 要件にマルチプレキシングのルールが適用されるかどうかは、コンテンツ、ファイル、またはデータへのアクセスや配布がどの程度自動化されているかによって異なります。自動化された方法で (たとえば、サーバーから直接、またはサーバーに自動的にポストされて) 利用可能になるファイル、コンテンツ、データのアクセスまたは展開を行うデバイスやユーザーには、CAL が必要となります。ただし、ユーザーがファイルをサーバーに読み込んだり、ファイルを電子メールで送信した場合など、手動による操作の結果として利用できるようになった場合は、手動でポストされたあるいは電子メールで送信されたこれらのファイルにアクセスするユーザーやデバイスに、CAL は必要ありません。以下に、Visual Studio Team Foundation Server CAL が必要となる例を示します (Visual Studio Team Foundation Serverで使用される他のサーバー製品の CAL 要件は、そのサーバーに対する直接または間接的なすべてのアクセスに適用されます)。

例 1

自動処理プロセスが Visual Studio Team Foundation Server サーバーからファイルを読み込むように設定されており、そのサーバー ファームは自動的にこれらのファイルをデスクトップ上に読み込みます。Visual Studio Team Foundation Server CAL の要件: Visual Studio Team Foundation Serverに戻る継続的な自動リンクが存在しているため、ファーム内のサーバーごとに、およびデスクトップ/ユーザーごとに Visual Studio Team Foundation Server CAL が必要となります。

例 2

ビジネスに関する意思決定者 (BDM) は、サーバーに自動的にポストされた、Visual Studio Team Foundation Server によって生成されたレポートをダウンロードします。Visual Studio Team Foundation Server CAL の要件: BDM は Visual Studio Team Foundation Server の自動化から直接メリットを得ているため、BDM ごとに Visual Studio Team Foundation Server CAL が必要となります。BDM が別のサーバーにポストされたレポートを確認する場合でも、サーバーの自動ポストから直接メリットを得ることになるため、BDM には CAL が必要となります。

詳細については、[製品条項](#)を参照してください。

よく寄せられる質問 (FAQ)

1. これらのルールは SQL Server にのみ適用されますか? あるいは、サーバー/CAL モデルに基づいてライセンスを取得したすべての製品に適用されますか?

マルチプレキシングは共通の使用条件であるため、すべてのマイクロソフト製品に適用されます。ただし、マルチプレキシングが問題になるのは、ほとんどの場合、サーバー/CAL およびサーバー オペレーティング システム モデルに基づいてライセンスを取得した製品に関するものです。

2. マルチプレキシングに関するマイクロソフトの見解に変更はありますか?

いいえ。このライセンス簡易ガイドは、既に発行されている [製品条項](#) の内容を簡素化して説明したものです。

3. デバイス CAL でライセンスを取得したデバイスとマルチプレキシング デバイスの違いを教えてください。

デバイス CAL により、任意のユーザーが使用する 1 台のデバイスが、ライセンスを取得したサーバー上で動作するサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスできます。マルチプレキシング デバイスは、ユーザーがデバイス CAL でライセンスを取得した他のデバイスからの接続をプールします。

4. **マルチプレキシング デバイスのチェーンによってライセンス要件は変わりますか？**

いいえ。エンド ユーザー/デバイスとサーバーとの間にマルチプレキシング デバイスが何台あるかに関係なく、マルチプレキシングによって必要な CAL の数が減ることはありません。

5. **マルチプレキシング デバイスに CAL は必要ですか？**

いいえ。ただし、管理者ではないユーザーがマルチプレキシング デバイスに直接アクセスする場合は CAL が必要です。

6. **Windows Server CAL のマルチプレキシングのルールは、これとは異なっていますか？**

いいえ。前述の SQL Server の例と同様に、直接的にでも間接的にでも Windows Server にアクセスするためには CAL が必要となります。Windows Server ソフトウェアによって、あるいはマルチプレキシング ハードウェアまたはソフトウェアによって Windows Server にアクセスするためには、いずれの場合も Windows Server CAL が必要となります。

© 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容はライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様とのボリューム ライセンス契約書の一部ではありません。これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。(2018 年 12 月)